

YKKグループとYKK APの理念 4

Chapter 01 マネジメントメッセージ

トップメッセージ 6
財務担当役員メッセージ 12

Chapter 02 価値創造

価値創造の歴史 14
価値創造プロセス 16
経営資本 18
モノづくりの強み 20

Chapter 03 マテリアリティと取り組み

マテリアリティに基づく取り組み 22
持続的成長を支える「人材」
人権の尊重 24
人材戦略 25
ダイバーシティ&インクルージョン 26
働きがいのある職場環境の整備 27
新たな価値を創出する人材の開発・育成 28
商品による社会課題解決と競争力の源泉となる「モノづくり」
ステークホルダーとの共創 29
イノベーションの創出 31
社会課題を解決する商品展開 32

社会的責任を果たすための「信用・信頼」

公正な事業活動 33
取締役会議長×社外監査役 座談会 36
コンプライアンス 38
リスクマネジメント 39
環境経営 40

Chapter 04 成長のための事業戦略

第6次中期経営計画 46
事業ポートフォリオ 47
住宅事業 48
エクステリア事業 49
ビル事業 50
グローバルカーテンウォール事業 51
産業製品事業 52
海外AP事業 53

Chapter 05 コーポレートデータ

財務・非財務データ 56
賛同するイニシアチブ、認証と主な外部評価 58
会社概要 59

編集方針

「YKK AP統合報告書 2024」は、ステークホルダーの皆様に向けて、当社のパーパス「Architectural Productsで社会を幸せにする会社。」に基づいた、事業活動を通して社会を幸せにする会社であるためのさまざまな取り組みをより広く知っていただくことを目的に発行しています。本報告書は、国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイドンス」、GRI(Global Reporting Initiative)「GRIスタンダード」を参照しています。社会価値と経済価値を両立させる統合思考に基づき、YKK APの短・中・長期にわたる価値創造プロセスを価値創造ストーリーとして伝える構成としました。

対象範囲
YKK AP株式会社
YKK AP国内関係会社
YKK AP海外関係会社

対象期間
2023年度
(2023年4月1日～2024年3月31日)
※一部、対象期間外の情報も含まれます。

2024年度 YKK AP報告書体系



※上記以外にYKKが発行するYKKグループの報告書は、This is YKK(統合報告書)、YKK有価証券報告書、YKKグループビジネスレポートがございます。

YKKグループ経営体制

YKKグループは、1934年にYKK創業者 吉田忠雄がファスナーの加工販売を始めて以降、一貫生産体制の確立や海外展開など、ファスナーに新しい価値を創造しながら事業を展開してきました。現在のYKKグループは、YKKによるファスニング事業、YKK APによるAP事業^{*}を中核とし、YKK精神「善の巡

環」、経営理念「更なるCORPORATE VALUEを求めて」を共有する企業集団です。2021年からは共通する考え方や理念を持ちながら、それぞれの事業に最適な経営体制で、事業競争力を高めています。テクノロジー・イノベーションセンター(TIC)は両事業の架け橋となり、技術面で貢献しています。

※Architectural Products(建築用工業製品)の設計、製造、施工および販売を行う事業。



表紙と上の画像は、YKK AP M&Eセンタービル(富山県滑川市)。高難度のカーテンウォールやステールドアなどのビル製造の中核を担う、滑川製造所内に1992年に竣工。